

「第 11 回 西宮市都市交通会議 地域公共交通分科会」会議録

日 時：平成 29 年 12 月 25 日(月) 14：00～16：15

場 所：西宮市立勤労会館 4階 第8会議室

議 題：

1. 開会

2. 議事

議案第 1 号 平成 29 年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

報告第 1 号 生瀬地区コミュニティ交通の運行実績等について

報告第 2 号 さくらやまなみバス事業におけるふるさと納税制度の活用について

3. 閉会

○委員出席者

役職名	氏 名	所 属 名	代理出席者
分科会長	松村 暢彦	愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻 教授	
委員	森下 真	公募委員	
	中本 青子	公募委員	
	久保田 泰正	西宮コミュニティ協会 副理事長	
	土井 勉	大阪大学COデザインセンター 特任教授 一般社団法人システム科学研究所 上級研究員	
	楠田 悦子	モビリティコンサルタント ジャーナリスト	
	野津 俊明	阪急バス株式会社 自動車事業部長	
	野口 一行	阪神バス株式会社 取締役業務部長	
	松本 浩之	みなと観光バス株式会社 代表取締役	
	原田 寛治	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会 議長	
	中澤 秀明	公益社団法人兵庫県バス協会 専務理事	
	五十嵐 一俊	一般社団法人兵庫県タクシー協会 副会長	
	森田 啓司	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫国道事務所 計画課長	
	行徳 光正	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 道路第2課長	
	植松 浩嗣	西宮市 土木局 道路公園部長	
	森田 高敏	兵庫県西宮警察署 交通第一課長	
	吉本 道明	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫陸運部 輸送部門 首席運輸企画専門官	運輸企画専門官 大谷 健太郎
	登日 幸治	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課長	副課長 正垣 あおい
永井 正志	兵庫県 阪神南県民センター 西宮土木事務所 所長補佐（企画調整担当）	職員 小林 好樹	
豆成 一郎	西宮市 都市局 都市計画部長		

議事内容

(1) 協議事項

・議案第1号 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

事務局より平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について説明。

(委員) 増便やコース変更などの要望に対応するには、値上げや目標人数の引上げが必要であることを利用客の皆さんに理解いただき、利用者数を増やすほどサービスが向上することを示していくとよいと思いました。何かそのことについて考えていることがあれば教えてください。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

いろんな要望に全て応えることはできませんが、必要なものについては採算性と公共性を勘案しながら、どうすれば可能なかを考えていく必要があると思っています。公的な支援が大きな支えになっていますが、もしそれがなくなっても運行を続けていくという気持ちを引き継いでいかなければいけないと思います。新たな住民も巻き込んで、地域の足を守るということを議論しながら共通理解を深めていく必要があると考えています。

(委員) この事業の補助金額を教えてください。また、この事業での教訓をほかの地域でも活用するために、自己評価の中に記載してはどうでしょうか。さらに、利用客が増えると積み残しが発生すると書いてありますが、既に積み残しは発生しているので、これは懸念ではなく喫緊の課題であると思います。

(事務局) 1年目は、運行経費が6,549,000円で収入が5,764,000円、運行損失が785,000円でした。国からの補助金で満額まかなえたので、市からの補助金はありませんでした。2年目はまだ未確定ですが、運行損失が808,000円となっており、大半を国の補助金で負担し、市からは数万円程度の補助をすることになると思います。車両は548万円の車両1台で運行されており、5カ年をかけて市と国とで補助をするという形になっております。コミュニティ交通を導入したいという地域には、モデル地区である生瀬地域を視察してもらい、生の声を聞いていただくという方法が一番だと考えています。ご指摘のように、補足が必要なところについては記載を修正したいと思います。積み残しの対応は、地元の話や乗務員不足などの観点も踏まえて説明させていただきたいと思います。

(分科会長) 事務局より説明のあった「平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について」を承認するというところでよろしいですか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長) 議案第1号は原案のとおり承認されました。

(事務局) 自己評価における生瀬での事業の教訓や積み残し問題などの部分の微修正については、松村分科会長と土井委員に御確認いただくということで、事務局に一任していただければと思います。

(分科会長) 分科会長と土井委員に一任させていただいてよろしいでしょうか。

(全委員) 異議なし。

(分科会長) 議案第1号の手續等についても承認されました。

(2) 報告事項

・報告第1号 生瀬地区コミュニティ交通の運行実績等について

事務局及び「ぐるっと生瀬」運行協議会、運行事業者である阪急タクシーより生瀬地区コミュニティ交通の運行実績等について説明。

(委員) この事業を実施した感想や会社の雰囲気の変化などを乗務員の方にお聞きしたいと思います。
いろいろな取組みの結果として前年度よりも輸送人員を伸ばされていますが、運行協議会として一番の要因は何だと思われますか。また、利用者はあとどれくらい伸びそうですか。生瀬地区全世帯を対象に行っているアンケートの内容を教えてください。

(阪急タクシー)

利用者の方から元気をもらい、楽しくやっています。バスがあるので気軽に宝塚に出かけられるという声も聞いています。運行当初、利用者は女性の方が多かったのですが、最近は男性も外出される方がふえてきているように感じます。

当初、社内ではバスの運行でタクシーの収益が下がるのではないかという話もありましたが、最近はそれほど聞かなくなりました。朝夕のタクシー利用者が多い時間帯にバスの定期運行があることでタクシーの待ち時間が減っている感じがします。また、当初は社内に協力者も少なかったのですが、職員に地域のイベントなどへ参加してもらったり、国土交通大臣表彰を初めいろんな賞をいただく中で、応援の声が増えています。現在は、宝塚営業所だけの取組みなので、他の地域で同じように盛り上がるかという点、非常に苦労するのではないかと考えています。乗務員は現役を1度退いたドライバーで、最後に地域に貢献できる仕事ができ、誇りを持ってくれています。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

利用率を上げるための利用促進活動として、会報の全戸配布、学校を通じての周知や、地域行事への参加、目標人数をバスに掲示するなどの話題提供などを行ってきました。しかし、利用率が上がったのは、利用者が乗ってみて便利だと実感し、それが口コミで広がっていったのが一番大きいと思います。

利用者数の伸びは、満員になる便もあり今は頭打ちになっています。来年10月以降の新しい計画では満員状態を解消するために増便を考えていますが、それは利用者を分散させるだけでなく、新たな利用者が増えるのではないかと考えています。

現在行っているアンケートの内容は、運行に対する質問と個人に対する質問になっています。記名していただいた方に追跡調査を行うなど、アンケート結果から変化を調べることで、生瀬の少子高齢化、空き家問題、生きがいなどを研究することができます。そういう変化も見ながら対策を講じていきたいと思っています。

(委員) 満員で乗車できなかった利用客がいたということで、トラブルにならないよう早急に解決できればいいと思いました。また、「ぐるっと生瀬」運行協議会のみなさんは、ボランティアでされているにもかかわらず、苦情で厳しいこと言われて嫌になることはありませんか。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

強い口調で苦情を言われる方も、私たちがボランティアでやっていることを伝えると理解してくれます。やりがいがあるという思いでみなさん頑張っておられます。

(委員) 報告を聞いてすごいと思いました。公民館などで住民の方に話す機会があったら、もっと協力的になって、いいアイデアが出てくるんじゃないかなと感じました。

(「ぐるっと生瀬」運行協議会)

各自治会の集会所等で地域説明会は行っています。厳しい意見もありますが、住民の方も生活向上につながっていることをわかっていただいております、9割方は理解していただいていると思います。

(委員) いろいろな意見を一つ一つ改善して取り組まれていると感じました。阪急タクシーさんも職員を巻き込みながら、地域と連携されていると思います。乗務員の方にお尋ねしますが、実はこういったことで悩んでいるというのはありますか。

(阪急タクシー)

利用客が定員超過で乗れないときがあることです。ただ、お客さんも非常に理解があるので、経験していくなかで理解していただけるものであると思います。

・報告第2号 さくらやまなみバス事業におけるふるさと納税制度の活用について

事務局よりさくらやまなみバス事業におけるふるさと納税制度の活用について説明。

(分科会長) さくらやまなみバスという一つの事業だけを対象としているのは、ほかの寄付金の使い道と比べて非常にアンバランスな感じがしますが、市の内部でも十分検討された結果ですか。

(事務局) もともと基金のメニューとして、さくらやまなみバスを対象としたバス事業基金というのが当初からあり、まずはそれを対象としたという経緯です。

(分科会長) 個々の事業についての基金を集めたいのであれば、クラウドファンディングなどの方法があると思います。例えば「ぐるっと生瀬」で市の予算が必要になったとき、寄附金の使い道に「ぐるっと生瀬」を入れるのかという話です。もう少し大きな目標として、西宮の地域公共交通の維持・改善などとしたほうが本来の趣旨に合うと思いました。

以 上